

# だいち

地域に生きる

編集者：蓮田太陽の里

「だいち」広報委員会

〒349-0101

埼玉県蓮田市黒浜1045-1

TEL 048-764-3881

FAX 048-764-7788

H P <http://minuma-hukushi.com/>



# まなこ

書 関口忠司

# 巻頭コラム

## 身障協ゲーム交流会

3月9日(金)にさかど療護園で行われた「すごろく大会」に参加してきました。諸岡さん、富谷の二人で参加してきました。

行きの車内で、諸岡さんはラジオの音楽に、「聞いたことあるね」と言いながら口ずさんでいました。昼食はコンビニか店内で食べるかどちらがいいか聞くと、「お店!」とのこと、すき家でカレーを食べました。食べながら「カレー美味しいね」と満足げ。

ゲーム交流会では、自己紹介で諸岡さん自ら手を挙げて一番に自己紹介をし、やる気満々。ルール説明の時には真剣に話を聞いていました。ルールは「指示があるマスに止まると、そのマスに掲示された内容をおこなう」というもので、ゲームが始まると自分から進んで参加し、自分以外の時にも、指示にある質問に答えているのを聞いて、楽しそうに拍手や声を出しながら楽しんでいました。最後の所で1の目以外を出せば3位になれる所まで来ましたが、1の目を出してしまい、皆に「あ〜!そこで、1の目を出すなんて!さすがだね!」と皆残念がっていました。諸岡さんは、「やっちゃったね。1の目だね」と笑いながら少し照れくさそうにしています。帰りの車内では、「すごろく楽しかった!」と満足げな様子でした。

富谷 勲(職員)

## 課業より今年度の振り返り

一年は早いものでもうこの季節がやってきました。去年の今頃もこの場をお借りして課業の一年間の振り返り報告をさせていただきました。

去年は仲間の各仕事の事についてお話しさせていただきましたので今回は、販売活動についてお話しさせていただきます。ありがとうございました。

仲間達が作ったせっけん、さわりの反物や加工した小物製品、グッズ化された書の製品や原画など販売しています。地域のイベントごとに出展させていただける時はこれらの製品をたくさん持っていき、テーブルの上を一杯にして販売しています。販売の時には仲間と職員で店番に行き、仲間たちは自分たちの作った製品が売れていく様を見ては次へのやる気に繋げ、買ってくれた方の言葉に元気づけられています。地域の方

に大地の事を知ってもらう機会と、

仲間達が外部の人たちと関わり社会参加する大事な場面だと考えています。しかしこのところ吸引が頻繁に必要であったり、食事の配慮（きざみやミキサーなど）が必要なため施設から長時間離れることが難しい仲間が増えてきています。そういった仲間たちの施設外での活動を保障するために来年度から、いろいろな工夫をして多くの仲間が販売活動に参加できるようにしていきたいと思えます。一生懸命取り組み、頑張ったことがたくさんの人に評価されていき、そして次への力につながる。そんな環境をつくれるよう仲間職員共に作り上げていきたいと思えます。来年度もどうかよろしくお願ひします。

野村 勇作（職員）

## 文化より今年度の振り返り

今年度文化では、「生活に密着した取り組み」「生活を主体的に組み立てる取り組み」「余暇を楽しむ取り組み」「地域社会と接点を持つ取り組み」「学ぶ、学んだ事を共有する取り組み」の5つを大切にし、仲間が自分たちの生活を意識することのできるように取り組みを進めてきました。

具体的な取り組みとして「夕方の活動」や「学習会」等を行ってきました。

夕方の活動では曜日ごとに食事準備・リハビリ・体重測定・読み聞かせ・身だしなみ・外出の場所を決める話し合いなどを行なっています。今では取り組みが定着して仲間それぞれが普段の生活の中で食事の準備をしたり、仲間同士で、外出で買い物に行く人に、買い物頼んだりしている様子が見られるようになって

います。自分たちの生活を意識する

取り組みが、自分たちの生活を自分たちで組み立て、みんなの役割になっているという意識につながっている姿が見られます。仲間たちからは「自分の要求」だけでなく、「自分たちの要求」「周りの仲間の要求」を「自分の要求」として、考える姿が見られます。学習会では、自治についてや選挙についてみんなで学習をしています。また仲間との交流を図ると同時に、朝の会の時に開かれる足話学習会では、仲間自らが講師となり活躍する場面になっています。今年度課題が上がったものについては、次年度どのようにすれば安定して行えるかやり方もふくめ文化で議論しながら進めていきたいです。

富谷 勲（職員）

## リハビリより今年度の振り返り

今年度リハビリ担当として、「リハビリが仲間の生活をどう豊かにするのか?」「リハビリが仲間にとってどんな意味があるのか?」「本人に意欲があるか?」「リハビリが過度な負担になっていないか?」「達成感や満足感、自信につながっているか?」といったリハビリにまつわる仲間達の気持ちや生活に目を向けて取り組んできました。また、仲間たちは高齢化に伴い身体機能が低下してきています。それにあわせて意欲も低下していく傾向にあります。そこで、仲間ひとりひとりリハビリのモチベーションを上げるためにはどのような声掛けをしていくと良いかを話し合い行ってきました。目に見える成果を感じる事は少ないですが、とても大事な事なのでこれからもしっかりと考

えていこうと思います。

仲間の介助度が上がっていくにつれて、リハビリ職員が揃わず満足なリハビリを行えない日も多くなってきました。その上でリハビリ担当としてどのような環境をつくっていくかが課題です。

普段の生活の中で行う『生活リハビリ』を昨年度、全員分作成しました。直接リハビリになるものやその動作が直接リハビリにはなっていないことも、意欲向上に重点を置いて作った物等それぞれの仲間にあったものを作りました。リハビリの時間だけでは足りない部分をどれだけ生活の中で行なっていけるかを今後も話し合い進めていきたいと思っています。

大浦 健一（職員）

## 健康給食

今年度も、仲間の健康を守ることを第一に考え、活動してきました。

仲間の健康を守るためには、風邪やインフルエンザ等の感染予防をすること、誤嚥性肺炎を予防すること等が重要となります。

前年度のインフルエンザ大流行を教訓に、今年度は業者さんと呼んで学習会を実施したり、インフルエンザ予防接種を2回実施しました。全国的にワクチンが不足している中、浅子先生のご尽力でワクチンを確保することが出来ました。そのお陰で仲間のインフルエンザ感染は、なんと0人だったのです。

また、新白岡口腔リハ歯科クリニックの山田先生が、歯科と嚥下をきめ細かく診察して下さいます。普段の摂食状況を見るため、昼食時間に合わせて来て下さったり、仲間

の好物のトッブスのケーキや、ハッピーターンで摂食訓練をしたり、一人ひとりに合わせたケアをして下さっています。

こうして大地の仲間たちは、地域の人々に守られながら元気に過ごせているのだと実感する1年でした。また、看護師パートの大熊さんの入職により、私も相談する相手が出来たので、大変心強く思っています。

これからも、みんなが元気に笑顔で暮らせますように、健康給食一同でとりくんでいきたいと思っています。

中山 郁（看護師）



### 音楽療法より今年度の振り返り

今年度の音楽療養は、鳶田先生が産休に入り、丸谷先生からのスタートとなりました。丸谷先生は元みそらの方なので、先生も仲間も顔なじみであったため、お互いがあまり緊張せずにできたのではないかと思います。丸谷先生が活動中、困っていると仲間が「○○だよ」と先生に教えてくれたようで、とても助かりましたと喜んでいました。

鳶田先生が出産を終え、8月から復帰して帰ってきてくれました。復帰後は11月に控えたコンサート練習から始まりました。コンサートの様子は以前にも広報でお伝えしたので、今回は詳しく書きませんが、参加した仲間を初め、参加しなかった仲間も応援してくれ、みんなで頑張ったコンサート

でした。

活動中の仲間の様子を全員ではないですが、報告したいと思えます。戸谷さん、活動を楽しみにしているようで、活動終了後も本人より「もっとやりたかった」と発言も。安藤さん、みんなと輪の中に入って隣の仲間と手をつないだり、「やりたい！」とアピールを沢山していました。岩上さん、今年度は活動中、入眠する事なくニコニコして音楽を聴いたり、楽器に触れて楽しんでいるようでした。白幡さんはタンバリンとチェアホーンの2個使いで得意気にニコリとしている顔が印象的でした。ほかにも沢山の仲間が楽しんでいる姿や、一生懸命楽器を鳴らそうとしている姿など、いろんな仲間の姿が見られる音楽療法でした。

小田嶋 里佐（職員）

### 園芸療法より

こんにちは、園芸療法リーダーの堀江です。今年度を振り返って印象に残ったことは、入院している仲間

通院等で参加できない仲間のために作品を作りたいと仲間の方から伝えてきて、最近では参加していない仲間のために作品を作ることが当たり前になっていることです。入院先の仲間にも届けると、入院中の仲間もびっくりしながらもとても嬉しそう

で、その後部屋に飾ってくれていました。仲間達の深いつながりを実感した瞬間でした。また、今まで園芸療法に興味なかった仲間が、「みんなと一緒に楽しみたい」と笑顔で参加するようになった変化に驚いています。白崎先生も園芸療法を続けていく上で言葉のバリエーションが増えていく仲間や、仲の良い仲間同士で活動する姿など、仲間一人ひとりに

変化が現れていることに驚いていて、活動を続けてきて良かったとおっしゃっていました。

作品展で販売する製品を作った時は、仲間の方から「販売品だから適当に計量したらダメだよ、しっかり作らないと。」と職員が怒られていました。仲間達の販売品作りに向かう姿勢は職員も見習わないといけないと感じました。

来年度も販売品作りや季節に沿った活動を予定しています。母の日のメッセージカード作りやじゃがいも掘りなど、人気のあった活動は来年度も継続します。また、ラベンダーの苗を新しく植え替えたので、園芸の職員で管理して、株が大きくなったら販売しますのでよろしくお願ひします。

堀江 正人（職員）

ふれあいランド

3月4日(日)、蓮田パルシーで行われた「第24回蓮田市ふれあいランド」に近野さんと栗原さんが参加しました。

ふれあいランドは、障害のある人と共にスポーツを通して交流を図ることが目的で、毎年、蓮田市の障害者施設の間人たちや地域の人たちが大勢参加し、盛り上がりを見せているスポーツイベントです。

今年の「選手宣誓」は栗原さん。大きな声で立派に役目を果たしてくれました。準備体操後、第1種目は手話ダンスです。円の中心で蓮の実会(手話サークル)の人たちがとなりのトトロの「さんぽ」を手話を使って歌いました。栗原さん、近野さんも一緒に歌って楽しみました。

車いすスラロームでは、一生懸命車いすをこいで参加した栗原さん。近野さんは、はずの実作業所の仲間に車い

すを押ししてもらって参加しました。綱引きでは違うチームでライバルとして参加し、白熱した引っ張り合いは1対1の同点で勝敗はつかず。

午前の部が終了し、昼食休憩後、はなみずき作業所の「よさこい」が始まり、迫力満点の踊りに近野さんはキラキラした目で見入っていました。

玉入れでは、かごまでボールが届かず、少々難しかったのですが、周りの人たちの助けを借りながら一緒に投げました。

祭り太鼓の音が響く中、蓮田音頭と炭坑節を参加者全員で踊り、今年のふれあいランドもフィナーレを迎えました。

来年もぜひ、ふれあいランドに参加をして、スポーツを通してたくさんの人たちと楽しみながら交流が図れればと思っています。

金子 知幸(職員)

25条集会

3月21日(水)埼玉県会館小ホールにて「人間らしく生きたい すべてのくらしは25条から 第2回埼玉集会」が開催されました。講師は首都大学東

京教授 木村草太氏でした。650人以上の傍聴者があり、小ホールに納まりきらず、立ち見やホール外のエントランスからモニターで傍聴している方もいて沢山の方が聴きにきました。大地からは生活保護の原告者である黒澤さんと小田嶋で参加をされました。

前半の集会内容は、「いま私たちの暮らしの実態は」をテーマに5名の方がリレートークをして下さいました。高齢者、介護、労働者、生活保護受給者それぞれの観点からの実態を話してくれました。後半は木村草太氏の講演でした。

集会に参加しての感想ですが、最低限度の暮らしとはなんだろうと自分の

生活や、仲間の生活を振り返りながら考えていました。『人間らしく暮らす』の基準は人それぞれですが、個々に幸せを感じられていれば良いのではない

かとも思っています。しかし、世の中には生活に息詰まっている人がおり幸せと感じられていない人もいます。行政はそのような方々の実情を把握し、しっかりと目を向けていってもらいたいと願います。

25条の条文「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国はすべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない」

小田嶋 里佐(職員)

異動あいさつ

「ふらっと」の担当として赴任してから、十年を越す歳月が流れました。しばらく現場から離れていたこと・大地の活動に交じって活動することなど、全く未経験の状況の中で戸惑ったことが思い出されます。

そんな中、太陽の里や浦和・川口で一緒だった仲間達が、嬉しそうに迎えてくれたことが、私を支えてくれたように思います。

この間、大きな変化もありました。「自立支援法」の成立・施行が、その一つです。社会福祉の考え方を根こそぎ変えてしまう立法に、何ともいえぬ思いがしました。一年余りの休職をさせていただいたこともありました。「私がここにいる事の意味は何だろうか」いろいろなことが頭の中をめぐる毎

日でした。復帰を前に、なまっただ体を必死に鍛え直したことも思い出されます。

多くの皆さんにご迷惑をお掛けしましたが、そんな私に、たくさん励ましてもらいました。この機会に、お詫びとお礼を申し上げます。

私の施設での生活は、養護学校の義務化設置を目前にした一九七八年が始まりでしたから、四十年になります。あと一年で退職させていただきます。あと一年で退職させていただきます。あと一年で退職させていただきます。あと一年で退職させていただきます。

大地の皆さん、本当に、本当に、お世話になりました。

原 俊久(職員)

退職あいさつ

私の事をご存知でしょうか。お会いしたことの無い方も多いと思います。

大地で4年間、宿直アルバイトをさせて頂きました。そんな中、大地の皆さんには、大変お世話になりました。

今までの思い出を振り返ると、充実した経験ができたと思っています。個性豊かな仲間の皆さんには、毎週笑顔にさせてもらいました。

ビッグイベントである「大地まつり」にも毎年参加させて頂きました。昼間に活動をしている姿を見たことがなかったため、大地まつりを盛り上げようとする姿には、凄まじい集団

の力を感じました。これからは、なかなか顔を出せませんが、また是非参加させて頂きたいです。大地の皆さん、

かけがえのない時間をありがとうございました。皆さん大好きです！

山口 俊介(宿直アルバイト)

退職あいさつ

こんにちは。3月で宿直を辞めることになりました、岡安未佳です。

大地には高校卒業してから大学の4年間、ずっとお世話になりました。

4月からは、新しい会社で新入社員として働きます。大地でのアルバイトはとても楽しく、また、沢山のことを得ることができました。4年間ずっと続けられたのは、職員の方

さんのサポートのおかげです。友だちから色々なアルバイトの話が聞きますが、私は本当に周りの人、環境に恵まれているな、と感じました。

今まで本当にお世話になりました。そして仲間の皆さん、今まで仲良くしてくれてありがとう。また遊びに行くので、その時はまたお話し沢山

しましょう！大地で元気に過ごしてください。また会いましょう！

岡安 未佳(宿直アルバイト)

# なかまと

# みんなの

# 輪



## まりこの 素敵な日常

きょうされんなかまこうりゅう  
かいにいてきました。

つばさをくださいとスマップの  
はなをうたってよかったです。

まりこ

てきたじゅめるよ。

みや

た。おんなのは、おじいじもかい

あ。にゆういんしたときかいてもらっ

なかまでいたわる、てかいてほしいな

2018 ねん3月24日(土)



## ゆかいに したい



作名「みかん」

## みんなの おすすめ

# ボランティア募集の券集

『大地』では、地域の皆さまに以下のご協力をお願いしています。

## ①ボランティア募集

館内の清掃や洗濯物の整理、ちょっとした身の周りのお手伝いや、外出の付き添いなどのボランティアさんを募集しています。

## ②ウエスの材料、バザー品（古本、雑貨）

仲間達が仕事で使う、ウエス製品の材料→綿100%の衣類、タオル、シーツ。また、バザーなどで販売するための古本（文庫本、マンガ）、雑貨（家庭で不要になったまだ綺麗で使える物）を募集しています。是非ご協力お願いします。

①ボランティア担当（面来、藤井）

②ウエス、古本担当（野村、北隅）

ありがとう  
ございました！



（順不同）

30年3月度に寄付して下さった方  
岩上 めぐみ 様  
大地家族会 様  
島村 真紀子 様

ありがとうございました



近野茂治の  
今月のイネ！



身障協ゲーム  
交流会に参加  
したんだね～  
楽しそう！



## 大地4月の予定

2日	(月)	辞令交付式
4日	(水)	職員会議
7日	(土)	家族会
9日	(月)	障全協県交渉
15日	(日)	蓮田市障がい者団体連絡会総 会/皆の郷隣記念パーティー
21日	(土)	職員会議

## 課業より

こんにちは！花粉症とぎっくり腰で大変な、課業担当藤村です。新年度も始まり、新しいランドセルの子どもたちが楽しそうに通学していますね。

課業も新年度に向けて、新たな気持ちで臨んでいます。今までの良かった経験は継続し、新たなチャレンジを進めたいと思います。

お知らせです。5/2～5/7仲間アート展が、埼玉県民活動総合センター（伊奈町）にて、きょうされん埼玉主催で開催されます。大地の仲間の作品も応募しますので、是非見学にいらしてください。

藤村 卓也（職員）



<広報だいち>広報委員会（職員）面来・北隅・安藤・岡部・小原  
（仲間）田村・神永・土屋莉恵・関口・近野